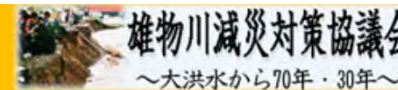


各機関の平成29年度の取り組み

- ・秋田市
- ・横手市
- ・湯沢市
- ・大仙市
- ・美郷町
- ・羽後町
- ・東成瀬村
- ・秋田県
- ・秋田地方気象台
- ・東北地方整備局

平成29年度秋田市水防訓練



この訓練は、水防法第32条の2の規定に基づき、集中豪雨や大雨が増加する時期に備え、水災の警戒、防御およびこれによる被害の軽減を図ることを目的として実施しました。

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年5月14日（日）
9:00～12:00
- ・会場：雄物川右岸秋田大橋上流河川敷
（秋田市茨島六丁目地内）
- ・参加人数：総勢111名
- ・参加機関：秋田市、秋田市消防本部、
秋田市消防団

2. 実施内容

○スケジュール

- 8:30～ 9:00 受付開始
- 9:00～ 9:30 開会式
- 9:30～11:40 訓練開始
- 11:40～12:00 閉会式

○訓練内容

- (1) 月の輪工法
- (2) 釜段工法
- (3) 積土のう工法
- (4) 改良積土のう工法

3. 状況写真



開会式



開会宣言



工法説明



土のう作り説明



月の輪工法



釜段工法



積土のう工法



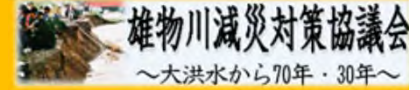
改良積土のう工法



閉会式

※今年度は、国土交通省主催の「平成29年度雄物川総合水防演習」(5月28日開催)の事前訓練として実施しました。

横手市防災マップ改訂に伴う住民説明会



最新の浸水想定・土砂災害危険箇所基礎調査を基に全面改訂中の防災マップ住民説明会を実施し、住民よりマップの内容や地域防災の意見頂き、今後の業務に反映させる。
この際、7月22日の大雨災害の教訓等を説明し防災・減災意識の向上を図る。

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年10月31日(火)
～12月25日(月)
- ・会場：各地域の公民館等
- ・参加人数：自治会役員、消防団幹部、民政
児童員、地区住民(地元市議員)
- ・実施回数：30か所以上

2. 主な改正点

- ①新しい浸水想定
- ②最新土砂災害危険箇所情報
- ③避難の解説(水平及び垂直避難の考え方)
- ④災害毎の適性評価した避難所
- ⑤H29.7大雨災害の状況掲載
- ⑥情報・学習ページの充実
- ⑦各地区での危険箇所、一時避難所等をシールで表示

3. 状況写真



7/22 大森町の洪水被害

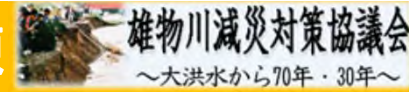


11/17 住民説明会(金沢孔城館)

4. 住民要望

- ① 他市町村と接する部分の情報(避難所等)の追加
- ② 水路清掃の周知
- ③ アンダーパス等浸水による危険箇所等の掲載

平成29年度湯沢市雄勝郡総合防災訓練



実施概要

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年9月6日（水）
7:00～12:00
- ・会場：湯沢市役所、稲川地域
- ・参加人数：総勢3,500名
- ・参加機関：湯沢市、広域消防本部他

2. 実施内容

<目的>

自治体、防災関係機関、地域住民等が積極的に連携し、発災当初の迅速・適切な対応行動について訓練し、防災活動体制の強化及び住民の自助・共助を重視した防災意識の高揚を図る。

<訓練内容>

- 職員の緊急連絡・参集訓練、
- シェイクアウト訓練
- 図上訓練、
- 住民による初期消火訓練、
- 消防及び防災ヘリによる救助及び搬送訓練
- 消防による消火・救出訓練
- 被災建物の調査訓練

3. 状況写真



市役所職員の緊急連絡・参集



地域住民による初期消火訓練(川連地区)



救助隊による倒壊建物からの救出



DMATによる2次トリアージ後の連携搬送



消防団による大規模建物火災延焼拡大防止



東北電力による車両展示(電源車)



自衛隊及び消防団員による炊出し



図上訓練



訓練後の振り返り

大仙市消防・水防講習会

実施概要

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年6月4日（日）
9:00～12:30
- ・会場：雄物川河川敷グラウンド
- ・参加機関：大仙市消防団

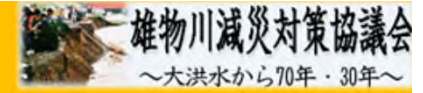
2. 実施内容

- ・土のう作りを行い、作成した土のうは各支団ごとに備蓄した。

3. 状況写真



大仙市消防・水防講習会



平成29年度

大仙市消防講習会・大仙市幹部教養講習会実施要領



平成29年度

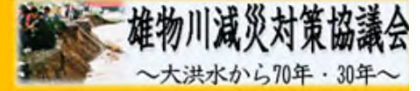
大仙市消防・水防講習会

大仙市幹部教養講習会

日時 平成29年6月4日(日)
開催 午前9時
場所 大仙市雄物川河川敷グラウンド

- 1 目的 消防団員が一堂に会し、小型ポンプ操法及び規律訓練(女性消防団員にあつては軽可搬ポンプ操法)の錬磨を図ることにより、災害への適応力を高め統制のとれた団としての一体感と士気の高揚を図り、もつて消防力の向上を期待する。
- 2 主催 大仙市・大仙市消防団
- 3 後援 秋田県消防協会大仙仙北美郷支部
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
- 4 日時 平成29年6月4日(日)
午前9時開会(団員集合:8時30分)
- 5 場所 大仙市雄物川河川敷グラウンド
- 6 実施種目 各支団 小型ポンプ操法・規律訓練
女性団員 軽可搬ポンプ操法
- 7 講師 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部職員
大曲仙北広域市町村圏組合大曲消防署職員
大曲仙北広域市町村圏組合角館消防署職員
- 8 日程 別紙のとおり
- 9 準備品 各支団で準備するものは次のとおりとする。
①小型ポンプ、ホース、吸菅その他操法に必要な機材。
②ゼッケン、ヘルメット、脚絆など操法に必要な装備品。
③支団旗
④吸い殻入れ
⑤テント(突風対策として錘・土のうを必ず準備すること)
※積載車は各支団1台とする。
- 10 その他 (1)服装は、正副団長及び正副師団長は盛夏服スタイル(メッシュ制帽、長袖、オレンジストライプネクタイ、半長靴)、分団長以下は活動副スタイル(アポロキャップ、ズック)とする。
(2)雨天時は、当日午前6時に消防本部職員と市職員が実施の有無を判断する。(中止の場合は、各分署を経由し連絡を行う。)

大仙市消防・水防講習会



平成29年度
大仙市消防・水防講習会 次第
(大仙市幹部教養講習)

- 1 主催 大仙市・大仙市消防団
- 2 後援 秋田県仙北地域振興局
国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
- 3 日時 平成29年6月4日(日)
消防講習会終了後
- 4 場所 大仙市雄物川河川敷グラウンド
- 5 実施種目 土のう作成
- 6 講師 渡邊亨(大曲支団分団長)、池田秀典(仙北支団副分団長)
- 7 日程 別紙のとおり
- 8 水防工法 次のとおり講習を実施する。
種目割当

	H28	H29	H30	H31
大曲 神岡	積み土のう	土のう作成	シート張り	シート張り
西仙北 中仙	シート張り		積み土のう	積み土のう
協和 南外	積み土のう		木流し	シート張り
仙北 太田	シート張り		川倉	積み土のう

土のう作成 (各支部100袋)

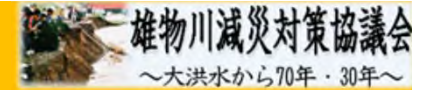
- 9 準備品
 - ・土のう作成補助器2器、トラック(土のう運搬用)3~4台
 - ・スコップ8本
- 10 その他
 - (1) 服装は、正副団長及び正副支団長は盛夏服スタイル(メッシュ制帽、長袖、オレンジストライプネクタイ、半長靴) 分団長以下は活動服スタイル(アポロキャップ、ズック)とする。
 - (2) 雨天時は、当日午前6時に消防本部職員と市職員が実施の有無を判断する。(中止の場合は、各分署を経由し連絡を行う。)

消防・水防講習会

開会式 総指揮者 佐藤副団長

- 1 開式のことば(児玉副団長) 9:00~
 - 2 主催者あいさつ
 - ・大仙市長
 - ・大仙市消防団長
 - 3 来賓あいさつ
 - ・秋田県仙北地域振興局長
 - 4 講師紹介
 - 5 講習内容説明
 - 6 閉式のことば(豊巻副団長) 9:20~
- 消防署員による展示・演習 9:30~
- ・規律訓練
 - ・小型ポンプ操法
- 講習終了 10:25
- 支団ごとにわかれて講習開始 10:30~
- 消防団員による操法展示 小型ポンプ操法(協和支団) 11:20~
- 土のう作成(片付け含む)【45分】 11:30~
- 閉会式 12:15~
- 1 開式のことば(豊巻副団長)
 - 2 講評(大曲仙北広域市町村圏組合 消防長)
 - 3 閉式のことば(児玉副団長) 12:30

美郷町消防団水防訓練



人命と財産を水害から守り被害を最小限に抑えるため、出水期を前に毎年訓練を実施しています。

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年6月11日（日）
8:30～12:00
- ・会場：雁の里多目的グラウンド
- ・参加人数：総勢50名
- ・参加機関：美郷町消防団、広域消防

2. 実施内容

- ・今年度は川倉工法を実施
- ・土嚢作製の確認やロープワーク(縄の結び方)等を総合的に訓練した
- ・若い世代へ水防技術を伝承していくうえで、大変重要な訓練である

3. 状況写真

川倉工法実施



(丸太の組み方を説明)



(川倉の移動設置訓練)

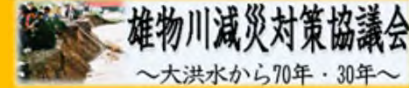


(流失防止のため土嚢を設置)



(完成)

美郷町消防団(水防団)危険予知訓練研修



消防団(水防団)の活動には常に危険が潜んでいますが、活動するうえで最も重要なことは、団員が二次災害等の被害にあわないことです。そのためには、不安全な行動をなくし不安全な状態に的確に対応することが肝要です。この研修は、災害現場に潜む危険を見抜く力を養い、公務災害防止の意識を持つことを目的とし開催しました。

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年11月19日(日)
13:00~16:00
- ・会場：美郷町公民館ホール
- ・参加人数：総勢60名
- ・参加機関：美郷町消防団

2. 実施内容

- 講師による安全についての講義
- DVDを利用した安全教育の上映
- 班ごとによる災害現場における危険要因の洗い出し及び討議検討
- 討議内容の発表及び意見交換
- 指差し呼称、指差し唱和

3. 状況写真

消防団危険予知訓練(S-KYT)研修



(全員で指差し安全確認)

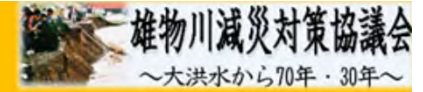


(安全教育DVDの上映)



(各班の発表について意見交換)

(羽後町)雄物川総合水防演習への参加



水防団の士気高揚や地域の水防意識の醸成を図る取り組みを実施。

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年5月28日（日）
8:30～12:00
- ・会場：秋田市茨島河川公園
- ・参加人数：総勢1050名
- ・参加機関：国土交通省、秋田県、秋田市、
横手市、大仙市、仙北市、湯沢市、
羽後町、三郷町、東成瀬村

2. 実施内容

- ・水防意識の醸成を図る取り組み
漏水対策である「月の輪工」を実施し、技術
の向上が図れた。

3. 状況写真



開会式風景



訓練開始前の号令

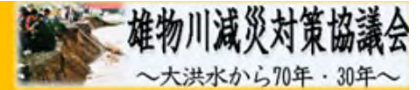


月の輪工実施中



月の輪工完成

(東成瀬村)雄物川総合水防演習に参加



洪水から国民の生命と財産を守るために行われる水防活動の重要性の理解と水災害に対する心構え、並びに水防に対する意識の高揚を図ることを目的として実施された【雄物川総合水防演習】に参加。

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年5月28日（日）
8:30～12:00
- ・会場：秋田市茨島地先雄物川右岸
- ・参加人数：総勢約1,000名
- ・参加機関：雄物川流域8市町村、秋田県、
国土交通省東北地方整備局 他

2. 実施内容

- ・現場での水防活動の実践や、エリアメール配信訓練などにより、水害時の関係機関の連携が、実際の災害時に近い形で確認することができた。

3. 状況写真



水防団による水防工法の実施

東成瀬村は「積土のう工」を実施



実施概要

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年10月25日(水) 14時～
- ・会場：五城館(五城目町)
- ・参加者数：35名
- ・参加対象：自主防災組織、町内会、町職員

2. 実施内容

- ・県では、自主防災組織のリーダー等を対象とした「自主防災組織育成指導者研修会」を開催し、自主防災組織の育成強化を図っている。
- ・今年度は五城目町のほか鹿角市、北秋田市、男鹿市、井川町、美郷町の6市町で開催した。
- ・このうち五城目町で実施した研修会では、防災講話と防災ゲームを行い、地域の防災について、自治体と住民が考える良い機会となった。

【当日の次第】

- ①開会、主催者挨拶
- ②防災講話(秋田大学)
- ③防災ゲーム(※クロスロードゲーム)
- ④総括、閉会

※ クロスロードゲームとは

災害時には、同時多発的に想定外の問題に直面する。阪神・淡路大震災で実際に問題となった「災害対応のジレンマ」をカードゲーム化したもの。問題カードには、「3000人いる避難所で、2000食を確保した。この食糧を配るか配らないか」など、どちらを選んでも何らかの犠牲を払わなければならないような「ジレンマ」が記載されている。自分なりの理由を考え、苦心の末に「Yes」か「No」か、一つだけを選び、合図で一斉にオープンし、多数派の人は、青座布団を獲得できる。10枚のカードを終えたときに、一番多くの座布団を持っていた人が勝ちとなる。その人が「Yes」または「No」を選んだ理由を聞くことで、多くの価値観や視点に出会うことができる。災害を自分の身に引き寄せて考えると同時に、他者のさまざまな考えを知ることができる優れたゲームである。(内閣府HPより一部抜粋)

3. 状況写真



○防災講話

「自然災害から家族や地域を守るため 身近な災害危険度を探る」と題して、秋田大学 水田教授が講話。参加者は熱心に耳を傾けた。

○防災ゲーム(クロスロードゲーム)
県総合防災課職員がルールを説明した後、ゲームを進行。アンケートを集計した結果、回答者のうち87.9%の方から参考になったとの意見であった。



実施概要

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年6月22日（木）
8:00～11:30
- ・会場：福部内川
- ・参加人数：総勢30名
- ・参加機関：秋田県・大仙市

2. 実施内容

- ・毎年、出水期前を目途に福部内川遊水池において、秋田県（仙北地域振興局）と大仙市の共同で、情報伝達及び水門操作、排水ポンプ車の操作訓練を実施。

3. 状況写真



排水ポンプ車(秋田県)

【配 備】

H23出水を契機に、H24年度に
仙北地域振興局に配備

【規 格】

水中ポンプ式、30t/min



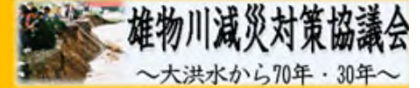
排水訓練状況



情報伝達訓練状況

(秋田県)ホットラインの実施状況

実施概要



○概要

7月22日～23日、梅雨前線が停滞。暖かく湿った空気が流れ込み前線活動が活発化。日雨量が観測史上最大となった観測所もある等、記録的な大雨となった。県と市町村では、6月に開催された県管理河川の減災対策協議会以降、ホットラインの運用を開始。今回豪雨時の運用でも、市町村長の避難勧告等の判断に活用されたとの意見があった。

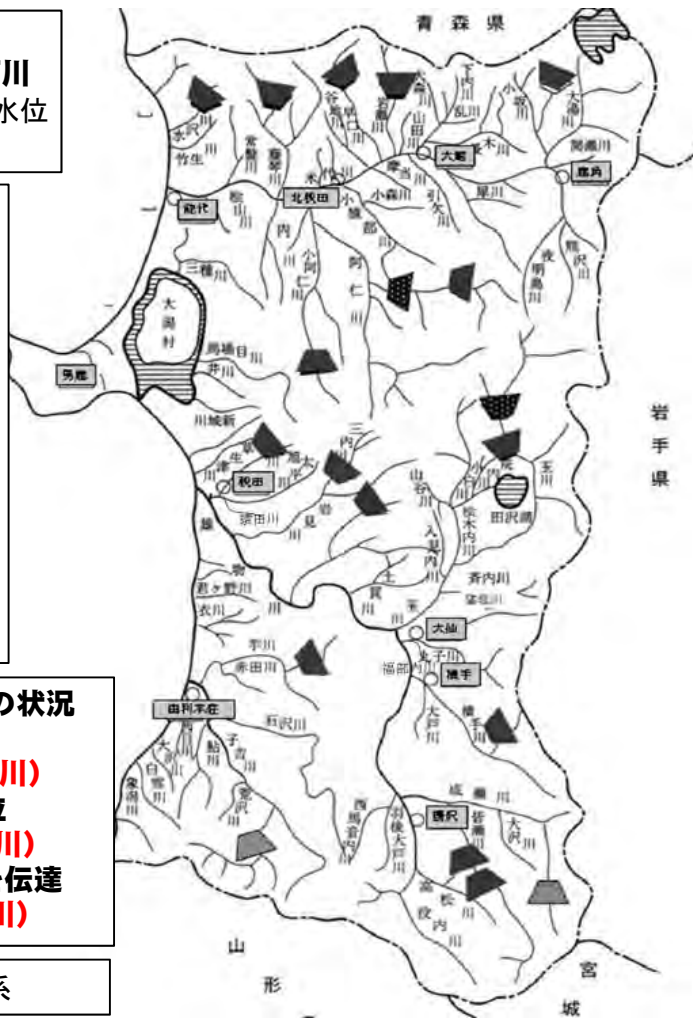
**7月22日～23日
ホットライン実施河川**
・現況水位、今後の水位見込みを伝達

- ・小阿仁川(2)
- ・三種川(4)
- ・**太平川(2)**
- ・草生津川(1)
- ・**猿田川(2)**
- ・新城川(3)
- ・馬場目川(8)
- ・芋川(5)
- ・福部内川(3)
- ・齊内川(2)
- ・**楡木内川(3)**

11河川35回実施
()内：実施回数

- 水位等伝達河川数の状況**
- ①避難判断水位
→ 11河川 (5河川)
 - ②うち氾濫危険水位
→ 9河川 (5河川)
 - ③さらに氾濫発生を伝達
→ 2河川 (1河川)

※赤書：雄物川水系



○被害状況 (H29.12.1時点)

- ・人的被害
なし
- ・住家被害(雄物川水系県管理河川、外水被害分)
全壊3 半壊32 床上浸水404 床下浸水 550
- ・土木施設被害(秋田、仙北、平鹿管内分)
約430件 約270億円

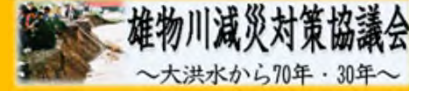
○避難準備・高齢者等避難 発令の実例

- ・11:50 避難判断水位到達
- ・12:06 市町村長への伝達、ホットライン完了
- ・12:20 避難準備・高齢者等避難 発令

○ホットライン実施後の市町村の主な意見

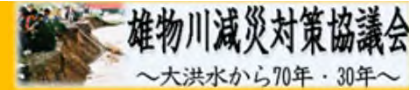
- ・避難指示の判断材料として活用した
 - ・水位情報は秋田県河川情報システム※と併用して活用した
 - ・引き続き実施して欲しい
- ※秋田県独自の水位情報等提供システム

(秋田県)水防倉庫資材一覧表



水防倉庫資材管理一覧表		資機材名は「水防計画書」に記載のある「水防管理団体等が備蓄に努める」資機材について記載				
資器材名	単位	秋田	仙北	平鹿	雄勝	備考
シャベル	丁	16		12	46	
掛矢	〃	23	7	11	36	
たこ槌・大ハンマー	〃	6			1	
唐鋤	〃				3	
ペンチ	〃	6			6	
おの	〃	3			6	
鋸	〃	2			7	
鎌	〃	3	4		7	
照明具	個	3			9	
ナタ	丁	4			20	
丸太・木杭	本	262	243		106	
小木杭・鋼杭等	〃	457	343	627	610	
土のう	俵袋	5,000	4,050	1,400	11,200	
シート	枚	70	27	10	165	
縄	丸	22	70	2	85	
鉄線	丸	4			500	
竹材	本	218	96		300	

特別警報発表訓練及び首長ホットライン実施訓練 (秋田地方気象台)



秋田地方気象台では例年出水期前に大雨特別警報発表訓練を部内で実施しているが、今年は羽後町、藤里町、仙北市の協力を得て特別警報の発表と連動する首長ホットラインの実施訓練も合わせて行い、訓練の一部は報道機関にも公開をした。

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年7月14日(金)
11時00分～16時00分
- ・会場：秋田地方気象台
- ・参加機関：羽後町、藤里町、仙北市
秋田地方気象台
- ・その他：取材等 テレビ4社 新聞4社 計14名

2. 実施内容

【部内訓練】

- ・訓練想定シナリオに基づき、大雨特別警報発表対応訓練スケジュールに沿った特別警報発表に係る各種業務を遂行する実作業訓練。

【公開訓練】

- ・特別警報発表に係る対象市町村首長へのホットラインの実施訓練、及び県内市町村に向けての防災メール発信訓練。
- ・特別警報発表後の記者会見準備作業から記者会見シミュレーション、記者会見実施報告までの記者会見に係る全ての実作業訓練。

3. 訓練想定

- ・7月14日、梅雨前線が東北北部に停滞。前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、秋田県北部を中心に記録的な大雨となる。
- ・14日午後は雨がさらに強まり、13時00分、大雨特別警報の長時間指標基準に達する可能性が高いと判断し、大雨特別警報の発表を決断。
- ・13時30分に大雨特別警報を発表し最大級の警戒を呼びかける。

4. 状況写真



訓練会場(全景)



羽後町 安藤町長からの
能動的ホットライン



藤里町 佐々木町長への
能動的ホットライン



仙北市 門脇市長への
能動的ホットライン

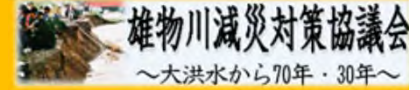


記者会見シミュレーション



囲み取材対応

7月及び8月の大雨時に首長ホットラインを実施 (秋田地方気象台)



今年度、秋田地方気象台では秋田県内25市町村のご理解とご協力のもと、全市町村長と秋田地方気象台長との緊急時ホットラインを確立。7月、8月の大雨の際には、このホットラインを活用し首長への情報提供を積極的に行った。

1. 7月22日～23日の首長ホットラインの実施状況

能動的ホットライン

大館市(福原市長)	22日09時11分
藤里町(佐々木町長)	22日09時15分
小坂町(細越町長)	22日09時17分
鹿角市(児玉市長)	22日09時19分
五城目町(渡邊町長)	22日13時04分
秋田市(穂積市長)	22日13時57分
にかほ市(横山市長)	22日15時50分
横手市(高橋市長)	22日17時47分
大仙市(老松市長)	22日19時25分
仙北市(門脇市長)	23日04時25分
羽後町(安藤町長)	23日07時13分
美郷町(松田町長)	23日07時45分

受動的ホットライン

北秋田市(津谷市長)	22日09時09分
にかほ市(横山市長)	22日13時30分
秋田市(穂積市長)	22日14時27分
仙北市(門脇市長)	23日04時35分
三種町(三浦町長)	23日05時05分
仙北市(門脇市長)	23日06時59分
美郷町(松田町長)	23日07時47分

2. 8月24日～25日の首長ホットラインの実施状況

能動的ホットライン

仙北市(門脇市長)	24日17時48分
大仙市(老松市長)	24日18時11分
五城目町(渡邊町長)	24日23時26分
上小阿仁村(小林村長)	24日23時28分
北秋田市(津谷市長)	24日23時31分
井川町(齋藤町長)	24日23時35分
秋田市(穂積市長)	24日23時38分

受動的ホットライン

仙北市(門脇市長)	25日17時59分
仙北市(門脇市長)	25日20時45分

3. ホットラインの意義

すでに警報等で十分に警戒を呼びかけている状況下で、更に災害の危険性が切迫した緊急事態になった時、気象台長から直接首長等に電話で気象状況の解説を行う。また、首長等から助言を求められ際は必要な助言を行い、避難勧告等の判断に資する。



市町村長と気象台長が災害が迫っている**危機感を双方で共有**することは、**迅速な避難指示等**の発令、**迅速な避難**につながる。

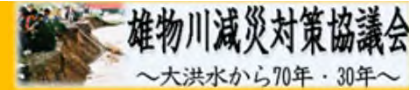


そのためにも、**電話のかけやすい関係、顔の見える関係**を今後も維持していきたいと考えています。



今次洪水を踏まえたロールプレイング演習を実施

(東北地方整備局)



「雄物川の減災に係る取組方針」に基づく取組みの一環として、雄物川流域の自治体において策定されたタイムラインに基づき、ロールプレイング方式の図上演習を横手市と湯沢河川国道事務所との共同で実施。(流域自治体も含め協議会メンバーが参加)

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年11月2日（木）
8:30～15:40
- ・会場①：横手市役所条里北庁舎
- ・会場②：湯沢河川国道事務所
- ・参加人数：総勢86名

演習部	指揮部
横手市	横手市、秋田県平鹿地域振興局、 秋田市、湯沢市、羽後町、 秋田地方気象台
湯沢河川国道事務所	東北地方整備局(本局)、 湯沢河川国道事務所

※減災対策協議会の構成員も指揮部として参加

2. スケジュール

- 08:30～08:35 開会・挨拶
- 08:35～09:00 演習直前説明・作戦会議
- 09:00～12:00 演習
- 12:00～14:00 休憩・準備
- 14:00～15:40 検討会および講評

3. 主要演習項目

- ①迅速かつ適切な情報収集・分析
- ②的確な状況判断
- ③大規模洪水における行政担当者の住民への正確な情報伝達
- ④浸水想定区域内における適切な避難誘導
- ⑤関係機関との緊密な連携(リエゾンを通じた情報共有や支援等)

4. 演習想定

- 演習想定日時は、梅雨前線が発達して大雨をもたらす時期「7月20日(平日)18時開始」とし、雄物川および横手川が、夜間に急激に水位上昇する設定とした。
- また、被災の想定は、H29年7月の大雨災害の状況を踏まえて、演習初期の段階で支川横手川での土砂災害や内水被害が発生する想定とし、その後雄物川も堤防決壊(横手市域)などの大規模被害が続く想定とした。

5. 状況写真



全景(湯沢河川国道事務所演習部)



テレビ会議でのホットライン(湯沢河川演習部)



電話による状況付与(湯沢河川指揮部)



地図による被害状況の整理(横手市演習部)



テレビ会議でのホットライン(横手市演習部)



全景(横手市指揮部)



参加者による感想(検討会)



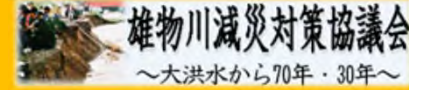
横手市副市長による講評(検討会)



湯沢河川国道事務所長による講評(検討会)

雄物川大洪水から70年・30年＋今次洪水巡回パネル展

(東北地方整備局)



雄物川では、過去にも昭和22年7月や昭和62年8月など大洪水が発生しており、平成29年は大洪水から70年・30年という節目の年。平時からの水害リスク情報を周知するため、今次洪水も含めた巡回パネル展を実施。

1. 開催期間・会場

雄物川流域全市町村(秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村)の21会場において、延べ23回パネル展を開催。

開催期間：平成29年7月4日(火)～11月30日(木)

展示会場	開催期間
東成瀬村役場	7月4日(火) ～ 7月11日(火)
湯沢市役所	7月11日(火) ～ 7月18日(火)
道の駅おがち	7月18日(火) ～ 7月25日(火)
羽後町役場	7月25日(火) ～ 8月1日(火)
道の駅十文字	8月1日(火) ～ 8月8日(火)
横手市かまくら館	8月8日(火) ～ 8月15日(火)
道の駅せんなん	8月15日(火) ～ 8月22日(火)
大曲駅	8月22日(火) ～ 8月29日(火)
美郷町役場	8月29日(火) ～ 9月5日(火)
仙北市役所	9月5日(火) ～ 9月12日(火)
東成瀬源流シンポジウム (横手市かまくら館)	9月9日(土)
道の駅かみおか	9月12日(火) ～ 9月19日(火)
雄物川コミュニティセンター	9月12日(火) ～ 9月25日(月)
秋田市役所	9月19日(火) ～ 9月25日(月)
大仙市Anbee	9月25日(月) ～ 10月6日(金)
雄物川シンポジウム (秋田市文化会館)	10月1日(日)
雄勝地域振興局	10月10日(火) ～ 10月27日(金)
羽後町防災訓練	10月15日(日)
収穫祭(道の駅おがち)	10月15日(日)
仙北地域振興局	10月16日(月) ～ 10月27日(金)
美郷フェスタ(美郷町公民館)	11月3日(金)
大仙市役所 神岡支所	11月9日(木) ～ 11月17日(金)
大仙市役所 西仙北支所	11月17日(金) ～ 11月30日(木)

2. 状況写真



湯沢市役所



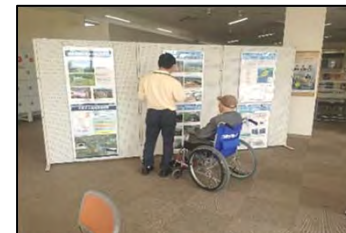
道の駅十文字



道の駅せんなん



大曲駅



大仙市Anbee



秋田市役所

3. 展示パネルの例

